

美杉台の丘より

飯能市立美杉台中学校

令和4年3月15日(火)

文責 齊藤 国明

【学校教育目標】「笑顔 挨拶 学び合い」～活躍し続ける美中生～(鍛える 高め合う 挑戦する)

鳥の目・虫の目・魚の目

卒業おめでとうございます。皆さんが巣立って行くこの美杉台中学校は、地域の皆様方の温かいご支援に支えられ、素晴らしい伝統を築き上げてきた学校です。第二十一回の卒業生となった皆さんが、今日の日をこうして迎えることができたのも、一人一人の努力の賜物であることは勿論ですが、ご家族・地域の方々や先生方の励まし、目に見えない多くの支えがあったからにはほかなりません。皆さんを見守ってくれた、全ての方々への感謝の気持ちを忘れないでください。皆さんの門出にあたり、「鳥の目・虫の目・魚の目」という言葉を贈ります。物事を成功に導くために必要な「三つの目」です。

【鳥の目】

鳥は高いところからものを見ています。全体像を把握する目です。広い視野で物事全体を見つめていくことによって、自分がどの位置にいるのかを把握することができます。自分が置かれている立場を、一步引いた外側から客観的に見つめる目でもあります。

【虫の目】

虫は地面に近いところで暮らしています。低い位置にいるからこそ、上からは見えなかったことが見えてくることがあります。狭いけれども深く世界を見る目です。「近づいて」さまざまな角度から物事を詳しく見るということであり、自分の足元を見つめ直す目でもあります。

【魚の目】

魚は目に見えない川の流れを体全体で感じ取っています。どのような変化の中にいるのかを感じ取り、どの方向に進むべきかを読み取る目です。四月から新たな環境の中に身を置く皆さんには、未知の世界でどの流れをつかんでどう進むのかを見極める目を持ってほしいと思っています。

そして【心の目】

全体をつかむ「鳥の目」、物事を詳しく見る「虫の目」、流れをつかむ「魚の目」。加えて、素直な心で物事をとらえる「心の目」を持って、新たな世界へ大きく羽ばたいていってください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、皆様には長い間のご苦勞と本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきましたことに、敬意と感謝を申し上げます。今後のお子様の健やかで輝かしい未来と、卒業後の栄光を心からご祈念申し上げます。



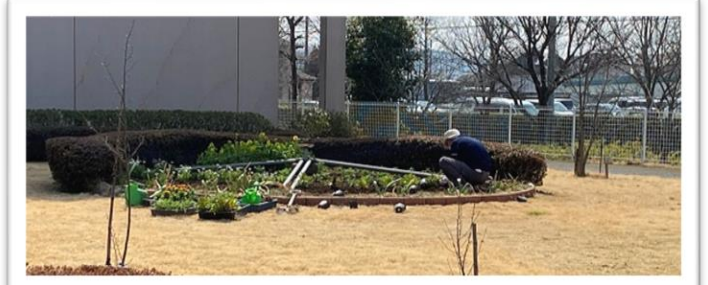
◆3年生の伝統を引き継ぎ「パンジーボランティア」の後輩たちが種から大事に育て、見事な花を咲かせてくれました。卒業式式場を飾ります。

◆3月4日、ジャガイモの植え付け作業を行いました。学校応援団の皆さんにいつも温かく支えていただいています。収穫は6月頃の予定です。

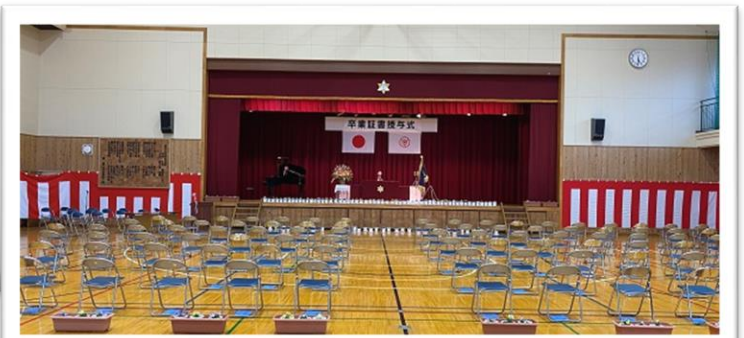


◆3月3日、三送会。全校生徒が一堂に会しての三送会とはなりませんでしたが、同じ時間を共有し、在校生が心を込めて準備をしてくれました。門出を祝うくす玉、見事に開きました。

◆「京都エコ修学旅行」に取り組んだ3年生。「優秀賞」として京都市から木製の素敵な賞状をいただきました。副賞（2万円の図書カード）は後輩たちのために、図書委員会に寄贈されました。



◆3月13日（日）、学校応援団の富澤さんが黙々と円形花壇に花を植えてくださっていました。



◆3月14日、最後の式練習。進路指導主事・青木先生から「羅針盤」最終号の配布とともに心温まるメッセージをいただきました。

◆3月14日、在校生が丁寧につくってくれた式場です。今日、この式場で卒業式を迎えます。

